



【学校教育目標】

学び合い、認め合いながら、ともに伸びゆく小川っ子の育成
～大好きいっぱい おがわの『わ』～



めざす学校像	めざす子供像	めざす教職員像
<p>五者連携で最大限の教育効果をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> ○達成感が次の意欲につながる、分かる・できる授業の創造がなされる学校 ○子ども一人一人が大切にされ、居場所と活躍の場がある学校 ○安心・安全で、保護者や地域に信頼される学校 ○「大好き」から「ひと、もの、こと」がつながり、子供の夢と挑戦を支える学校 	<p>「好き」を原動力に『わ』を広げる子供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、意見を交流しながら考えを深める子供 ○自分も周りの人も大切にし、思いやりを行動で伝える子供 ○心身を鍛え、互いに高め合い、成長し合う子供 ○ふるさとに誇りをもち、つながりを大切にしながら、夢に向かって挑戦し続ける子供 	<p>子どもを中心に据えた教育活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分かる・できる授業づくりをめざし、授業改善、授業実践を続ける教師 ○教育的愛情をもち、子供に寄り添いながら、一人一人のよさや個性を伸ばす教師 ○人間性豊かで人権感覚を磨き続ける教師 ○チームの一員として、強みを生かし、ともに学校をつくる教師

【育成したい資質・能力】

- ☆問いをもち、主体的に学ぶ力【学び合い】
- ☆自分を見つめ、互いに認め合う力【認め合い】
- ☆粘り強く取り組む力【高め合い】
- ☆自分の思いを伝える力【つながり合い】

学び合い大好き（知）

- ・人権が尊重される授業づくりの視点を明確にした実践
- ・「熊本の学び」アクションプロジェクトの推進
- ・問いの工夫、対話活動等をととした深い学びの実現
- ・ICT機器の効果的な活用
- ・特別支援教育の充実

元気大好き（体）

- ・運動量を確保した授業展開
- ・新体力テストの課題克服をねらった体力づくり
- ・生活習慣の確立をめざした子供主体の活動及び家庭との連携
- ・発達段階に応じた心と体の健康づくり（教育相談の充実、関係機関との連携）

友達大好き（徳）

- ・自分を見つめ、自らの生き方を問う人権学習の授業づくり
- ・「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業改善
- ・授業と体験活動、行事との関連を図った豊かな心の育成
- ・自尊感情を高める活動の充実（居場所づくりと活躍の場の設定）
- ・予兆をとらえた愛の123+1運動

人権教育の推進 チーム力向上 ワーク・ライフ・バランス（教職員の心身の健康）

「共通理解」から「共通実践」へ

小川校区 つながる『わ』（話・和・輪）

保小、小小、小中連携

- ・小川町特別支援教育連携協議会での情報交換
- ・1年授業参観公開、教職員の保育参観の実施
- ・小川中校区小中連携授業研等の推進
- ・小中連絡会での情報共有
- ・学童保育関係職員との連携

地域との連携

- ・学校運営協議会の開催
- ・地域学校協働活動推進員との連携
- ・総合的な学習の時間、カルチャー教室での地域素材、地域人材の活用
- ・3月初市への参加
- ・放課後子ども教室（ぐんぐん算数）の継続実施

家庭・PTAとの連携

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の推進
- ・情報通信機器利用のルールづくり
- ・家庭学習の習慣化に向けた啓発
- ・PTA主催による体験活動の実施
- ・学校、学級、保健、図書だより及びホームページによる情報発信
- ・学校評価アンケートの実施、課題改善